

勝部友子さんが食の匠に認定
多彩な食文化を広く発信

大東町大原の勝部友子さんが岩手県「食の匠」に認定されました。認定制度は、多彩な食文化を生かして地域活性化を図ることがねらい。匠は伝統料理や創作料理を紹介しながら、地元の食文化を広く発信する活動をしています。

食生活改善推進員で農家レストランを経営する友子さん。「椎茸八斗」は母親に教わった郷土料理で、添加物を一切使わず、次の日も濁らない汁が特徴です。友子さんは「今後は認定者たちと交流、協力していきたい」と意欲を見せています。



いちのせき暮らし体験ツアー
移住先のいちのせきを丸ごと体験

本市への移住・定住を促進する「いちのせき暮らし体験ツアー」は11月9、10の両日行われ、北海道や宮城県など県外から参加した9人が一関での暮らしを体験しました。

このツアーは市が進める「移住定住環境整備事業」の一環で初めての開催。参加者は、市職員らの案内で空き家物件などを見学したほか、周辺の環境や施設などの説明を受けました。

地元食材を使った料理を食べながら行った先輩移住者との交流会では、移住のきっかけ、生活の楽しさや難しさについて意見交換をしました。参加者は「市の取り組みも分かったし、一関の魅力が発見できた。知人にも紹介したいです」と話していました。



一関清明支援学校千厩分教室中学部・千厩中特別支援学級
ICTを使って佐賀の学校と交流授業

一関清明支援学校千厩分教室中学部と千厩中特別支援学級は11月8日、佐賀県立中原特別支援学校鳥栖田代分校とインターネット画面を通じた交流授業を行いました。

ICT活用教育を推進する鳥栖側の申し込みで実現した交流は本年度計4回計画。7、9月に続く3回目の今回は、両校の行事を



写真や絵などを使って紹介しながら、再会を楽しみました。千厩分教室中学部の山根基義教諭は「生徒も喜んでいきます。次は雪を届けて交流してみたい」と笑顔で話しました。

一関地方児童生徒音楽発表会
一関地方の50校が合唱や合奏披露



「2013一関地方児童生徒音楽発表会」(同地方教育活動連絡会主催)は11月20、21の両日、一関文化センターで開かれ、市内と平泉町の小中学校50校・57団体が合唱や合奏を披露しました。

このうち20日は、小学校の部に16団体、中学校の部に15団体が出演。各校は合唱曲をはじめ、童謡、ポップス、アニメ主題歌などさまざまなジャンルの曲を合唱や合奏で披露しました。会場には元気な歌声や美しいハーモニーが響き渡り、詰めかけた保護者や観客から盛んな拍手が送られていました。



2014 春のブライダルコレクション Bridal Collection
新作ドレス大展示会
2013.12/1 sun - 24 tue 10:00-18:30 [水曜日定休] | ブライダルサロン 七福人
衣装合わせ予約制 [右記の時間帯でご予約下さい] 11:00~ 21:00~ 316:00~

Bridal Salon SHICHIFUKUJIN
ブライダルサロン 七福人
〒023-0003 岩手県奥州市水沢区佐倉河字慶徳44-1
☎0120-188-500
TEL0197-23-8555
info@bs-shichifukujin.com
http://www.bs-shichifukujin.com
●フォトスタジオ プリエ
●ビューティーサロン フェリス完備

「社会を明るくする運動」民間協力者法務大臣感謝状
舞踊を通して社会福祉に貢献

水木鶴升さん 38 花泉町
日本舞踊水木流鶴升会主

踊りを通して「社会を明るくする運動」に貢献したとして、民間協力者法務大臣感謝状が贈られた。同運動の協賛事業である一関地区保護司会主催の「チャリティー踊りの会」には8回出演。入場協力金を県更生保護協会と市社会福祉協議会に寄付した。受賞に当たり、「踊りを通して、人と人とのつながりを広げることに貢献できてうれしい」と素直に喜ぶ。

施設のボランティア訪問は300回を数えた。舞踊を通じた福祉貢献はこれからも続く。なお、本市からは、水木さんのほかに次



の皆さんが表彰を受けた。
〔法務大臣表彰〕塩竈博隆〔全国保護司連盟理事長表彰〕佐藤守一〔東北地方更生保護委員会委員長表彰〕千葉静男、皆川セツ、伊東三四司〔東北地方保護司連盟会長表彰〕阿部欣平、阿部征子、伊藤敬太郎〔内助功労〕塩竈睦子〔岩手県知事感謝状〕田村純一、福山照基、千葉和子、阿部弘子〔盛岡保護観察所長感謝状〕千葉ケイコ、杉本禮子、若柳梅寿、佐藤千恵子、須藤千恵子

長年にわたる地道な活動と日々重ねた努力で道を究めた人たちがいる。それぞれの道で、その功績が認められ表彰された皆さんを紹介

道を究める

社会教育功労者表彰で文部科学大臣表彰
地域の社会教育の振興に貢献

菅原三千司さん 68 藤沢町

「社会教育功労者」として文部科学大臣表彰を受けた。旧藤沢町時代の1984年から通算20年以上にわたって公民館運営審議会委員や社会教育委員を歴任。社会教育の振興に大きく貢献した。また、少年補導員、防犯隊員、県青少年育成委員、交通指導員として児童・生徒の健全育成、地域の防犯、交通安全にも尽力するなど約30年間、地域のために奔走した。



「長年続けてこれたのは先輩、同僚、家族の支えがあればこそ」と心から感謝する。

全国PTA広報コンクールで佳作
学校と地域を結ぶ伝統の広報紙「蘭梅」

山目小学校PTA 佐藤智子会長

「第35回全国小・中学校PTA広報紙コンクール」で佳作に入選した。年5回発行する広報紙「蘭梅」は、児童の地域活動、民区の紹介、住民へのインタビューなど充実した内容で、季節の行事に合わせた号外の発行も高い評価を受けた。佐藤会長は「通算192号を数える広報紙の伝統を守ろうと



頑張ってきたメンバーのおかげ。受賞を機にますますパワーアップしたい」と言葉を弾ませる。学校、家庭、地域をつなぐ「蘭梅」は同校PTAの誇りでもある。

全国優良経営体表彰農林水産大臣賞
注目される中山間地の営農モデル

農事組合法人 おくたま農産 佐藤正男組合長 千厩町

農水省などが実施する「全国優良経営体表彰優良集落営農部門」で農林水産大臣表彰を受けた。7つの集落営農が統合し、2007年に設立した同法人は175%の集積面積を誇る。労働力の有効活用と大型機械による共同作業で低コスト生産を推進しているほか、後継者候補の段階的な育成にも力



を入れている。佐藤組合長は「必死で取り組んできたことが認められ、とてもうれしい」と喜び、「地域の農業は自分たちで守る」と前を見る。

道路愛護団体等表彰で国土交通大臣表彰
27年間、毎朝道路8キロを清掃

菅原義彦さん 86 千厩町

「道路愛護団体等の表彰」で国土交通大臣表彰を受けた。道路の清掃を始めたのは教員退職後の1986年。毎朝、1時間半から2時間かけて、自宅近くの国道や市道およそ8kmを清掃。ごみ、たばこの吸い殻や空き缶を拾って、地域の道路美化に努めた。「ごみは年々減っている。27年間続けてきたことが認められて大変光栄」と喜ぶ。



松ノ木沢自治会民生委員、同自治会長などを歴任した地域の顔。86歳の今なお、郷土愛と情熱は冷めない。